

平成30年度入学 一般選抜後期日程
外国語（英語） 講評

第1問

【出題のねらい】

専門的な語彙が含まれている文章の大意を掴んだ上で、文の構造、文法、語法、単語を理解し、内容を把握する力をみることをねらった。

【講評】

全体の正答率は5割弱程度だった。

問1

前置詞、比較、熟語、構文、単語などに関する問題で、前後の文脈から解答を推測することができる。

問2

juices をどのように想像し理解したかが評価のポイントとなる。日頃から多くの英文を読み、比喩的意味の理解力を身につけてほしい。

問3

正答率は高かった。三つ正答でなくとも、二つまで正答であった受験者がほとんどだった。「単語」を抜き出せという問だが、複数の単語からなる表現を抜き出している解答が散見された。問題文をしっかりと読み、理解した上で解答してほしい。

問4

問題箇所になっている”those needs”を指示文の need（動詞）と結び付けられていない誤答が多かった。また、met(meet)や suffer といった単語の語義を一つしか知らないために、誤訳をしている解答も多かった。

問5

文法的に難しい構文ではないため、単語の意味が分からず、減点された解答がほとんどだった。特に ceiling の意味が分かってない解答が目立った。

問6

正答率は高かった。この問題に正しく解答するためには、基本的な英文の読解方法を身につける必要がある。英文を読む際には、問われている箇所の前後を熟読するように習慣づけてほしい。

第2問

【出題のねらい】

文章を読み、内容を正確に把握する力をみることをねらった。

【講評】

3 割弱の正答率だった。長文の流れを掴みながらも、細かい箇所まで読み解くことが求められる。

第3問

【出題のねらい】

英語の会話文を読み、それぞれの状況において、適当な英語で表現をする力をみることをねらった。その上で、その場にふさわしい単語や表現を用いて会話を作成できるかを問うた。

【講評】

全体の正答率は3 割弱程度だった。必要以上に長い解答が多く見られた。このような問題を解くためには、日頃から英語の会話文を数多く読み、頻出する構文を覚える必要がある。熟語や表現を覚えるには、英語の映画やテレビ番組を観ることも役立つだろう。

第4問

【出題のねらい】

英語の会話文を読み、会話の流れを掴むことができるかをみることをねらった。その上で、流れにふさわしい発話を選ぶかを問うた。

【講評】

全体の正答率は6 割弱だった。多くの会話文を読むことで話の流れを掴む練習をすると良い。特に会話で多用される決まり文句などを覚えると役立つだろう。日常生活に関する身近な話題を使い、常に会話的な英語で表現する練習をしておくことも、会話表現を適切に使用する上で役立つだろう。

第5問

【出題のねらい】

メールを読んで意味を掴み、その上で求められている目的に応じた表現で返信を書くことができるかをみることをねらった。さらに、メールの受取人と書き手の関係性なども考慮し、それにふさわしい語彙や表現が使えるかを問うた。

【講評】

全体の正答率は5割強だった。全体的にスペリングミスや文法上の間違いが多かった。これらのミスがあることで、メール全体の意味に大きな影響を来したケースも多かった。